

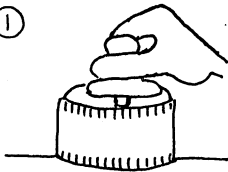
# ペットボトルキャップゴマのつくりかた

## 🍄 木材料♡道具

- ペットボトルのキャップ 2個
- 竹ぐし 1本 (18cmぐらいのもの)
- グリップのある押ピン (ピンの部分が直径2mmぐらいのもの. タイガーコペンハーゲンで購入)  
↳ 用意できなければ、直径2mmぐらいの「キリ」でもO.K.
- 油ねんど 少々
- ビニールテープ
- はさみ ✂️

## 🍄 つくり方

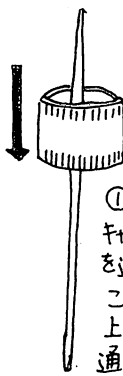
①



ペットボトルのキャップを机に置き、上から、ちょうど真ん中の位置に、押ピンをさし、ぐっと下に押し、穴をあける。これをもう一つのキャップにもする。

❗ 紹介した押ピンは、ピンの長さよりキャップの高さが高いので、机を傷つけません。キリの時は、注意しな。

②



①で穴をあけたキャップ1つに、竹ぐしを通します。この時に、口が上になるように、通します。

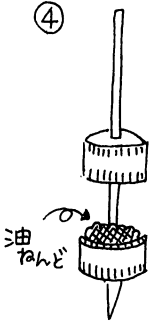
❗ キャップの種類によって材質が硬く、通りにくいものがあります。



❗ この間は油ねんどを入れるために必要です。

もう一つのキャップを、今度は口を下にして、竹ぐしに通します。2つのキャップの間は、油ねんどを入れるために、あけておきます。

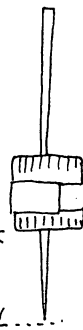
④



③の上下を逆にして、竹ぐしの先が下になります。下側になったキャップ(2番目にさしたキャップ)に、適量の油ねんどをつめます。

💡 油ねんどは、少なすぎても多すぎても回りにくいよ。回しながら、調整しな。

⑤



❗ まわりやすい距離をさくう

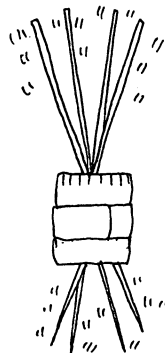
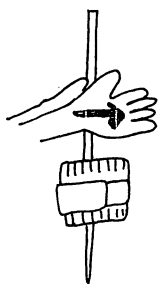
上側になっているキャップと、下側の油ねんどが入ったキャップを合わせ、まわりをビニールテープで巻いとめます。

💡 回す面とキャップの距離は、回しながら調整しよう。ちなみに、6cmぐらいがおすすめかな。(油ねんどの量にもよりますが... 😊)

完成!!

## 🍄 あそび方

竹ぐしを両手ではさみ、片方の手をぐっと押し出すように、スライドさせます。



💡 コマが安定しなかったり、すぐに倒れてしまう時は、油ねんどの量や、キャップと回す面までの距離を、キャップを動かして調整しよう。